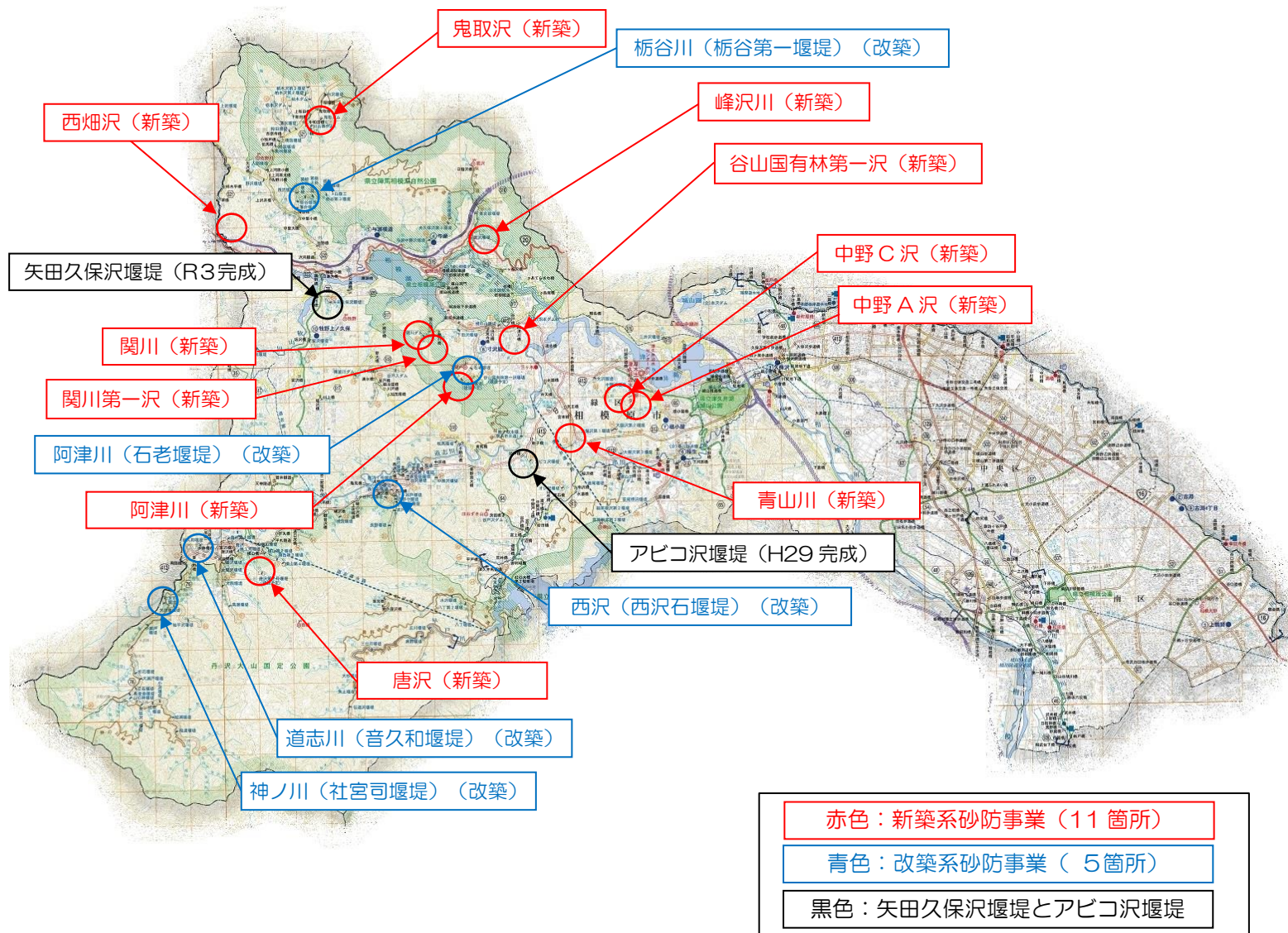


位置図

当センターでは、65 溪流の 99 箇所を砂防指定地に指定しています。
 当センターが管理している砂防堰堤は 110 基あり、そのうち、透過型砂防堰堤は 13 基、不透過型砂防堰堤は 97 基あります。
 現在、11 箇所の砂防堰堤の新設整備と 5 箇所の既設砂防堰堤の改築整備を進めています。



さぼうじぎょう 砂防事業

通常砂防事業・砂防メンテナンス事業



矢田久保沢堰堤（令和4年3月）

土砂災害から生命と財産を守る取り組み

砂防事業の目的

砂防事業は、大雨などにより発生する土石流※から、人家や公共施設（道路、官公署、学校、病院など）を守るために、砂防法に基づき砂防指定地に指定した溪流において、さほうえんてい けいりゅうほぜんこう砂防堰堤や溪流保全工などを整備するものです。

当センターでは、令和元年に災害が発生した溪流をはじめ、現在 11 箇所の溪流において、砂防堰堤を新設する事業を進めています。（裏面参照）

右の写真は、令和4年3月に矢田久保沢（緑区日連）で完成した、やたくほさわ矢田久保沢堰堤（ふとうかがたさほうえんてい不透過型砂防堰堤）です。



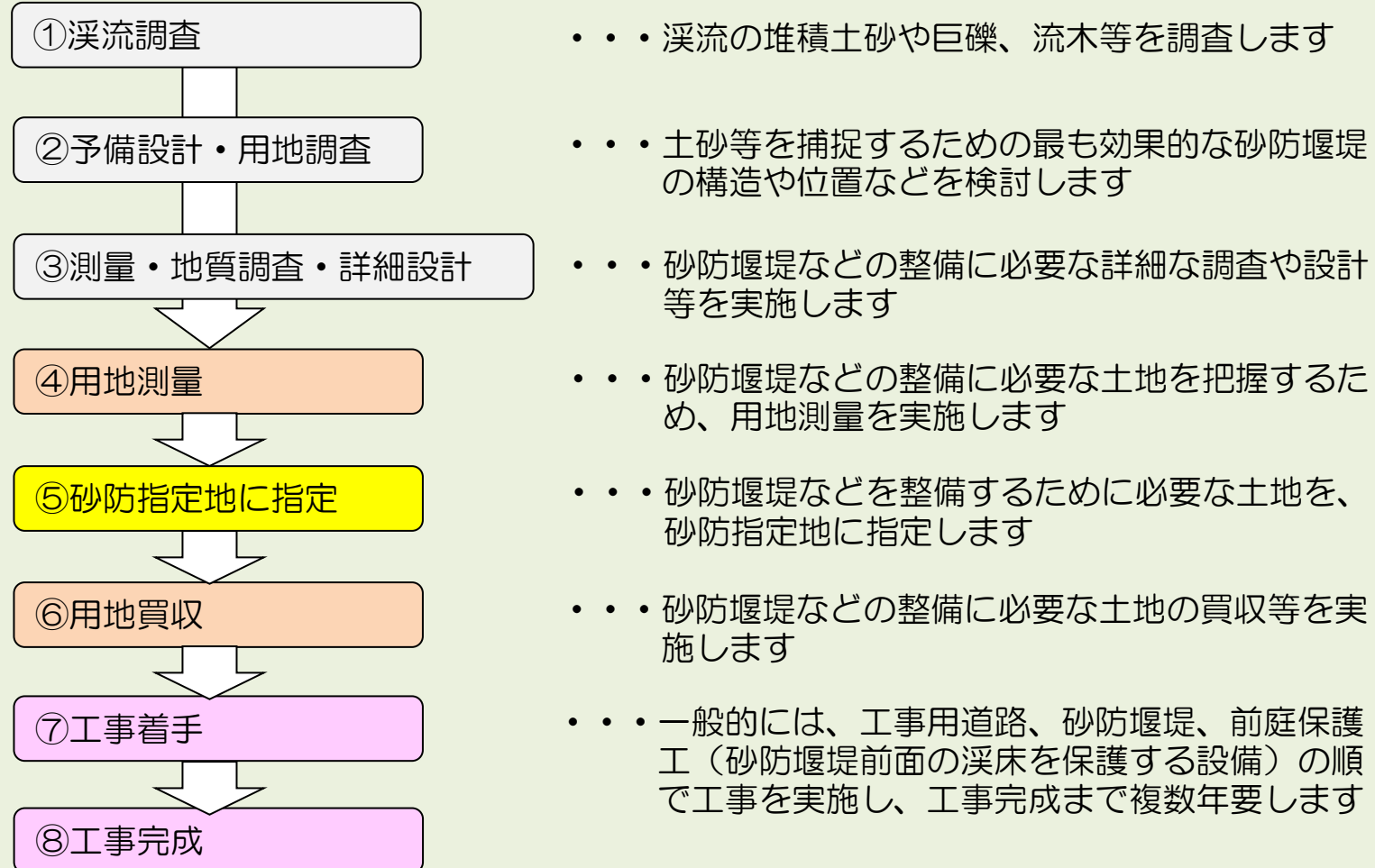
矢田久保沢（砂防堰堤整備前）

矢田久保沢（砂防堰堤整備後）

※土石流は、山や谷の土砂や石などが水と一緒に流れて溪流を下る現象

砂防事業の流れ

砂防事業の標準的な流れ



砂防堰堤の種類

砂防堰堤には、透過型と不透過型の2種類のタイプがあります

- ・透過型砂防堰堤：普段は水と土砂を流し、土石流発生時に巨石や流木などを捕捉します。
- ・不透過型砂防堰堤：堰堤背面に土砂などを貯めることにより、こうばい勾配がゆるくなることで水の流れが遅くなり、川底が削られるのを防ぎます。

砂防堰堤の効果事例【アビコ沢堰堤（緑区青野原）】

とうかがたさほうえんていアビコ沢堰堤（透過型砂防堰堤、平成29年度完成）では、令和元年台風第19号で発生した土石流を捕捉しました。（裏面参照）



完成当時の状況



土石流の捕捉状況①



土石流の捕捉状況②

土砂や巨石、流木を捕捉している



土石流の捕捉状況③

堰堤背面に土砂などが堆積している